

Art Laboratory Hashimoto

Annual Report 2023 2023.04 - 2024.03

アートラボはしもと

Art Laboratory Hashimoto

〒252-0207

相模原市中央区矢部新町3-15 市立青少年学習センター内

TEL.042-703-4654 FAX.042-703-4659

E-mail artlabo@city.sagamihara.kanagawa.jp

URL <https://www.city.sagamihara.kanagawa.jp>

[交通案内]

JR 横浜線矢部駅下車 徒歩3分

令和6年9月発行

編集・発行 アートラボはしもと (相模原市市民局文化振興課)

令和5年度

所 長 松島政幸

学 芸 員 加藤慶

美術専門員 柳川雅史 / 冢本かな恵 / 土屋美紀

令和6年度

所 長 脇岡実穂子

学 芸 員 加藤慶

美術専門員 柳川雅史 / 冢本かな恵 / 土屋美紀 / 入江彩美

印刷・デザイン 有限会社オフィス ジオ



表紙 | 「SUPER OPEN STUDIO 2023 -10th Anniv.-」
10周年記念イベント『SUPER ART RADIO』収録風景

Art Laboratory Hashimoto

アートラボはしもととは？

アートラボはしもとは周辺にある美術系大学などと連携し、そこで学ぶ美大生や卒業生、子どもたちや地域の方々、商店街や企業、学校、研究機関、市民グループなどと協力しながら、多彩なアート事業を展開する“アートの活動拠点”です。令和3年度に再整備のため施設を一時閉館し、市立青少年学習センター内の仮事務所において準備並びにアウトリーチを中心とした事業を行っています。

アートラボはしもとの12年目

令和5年度は、アートラボはしもと再整備事業の推進に向けて本格的に取り組んでいく予定でしたが、6月に優先交渉権者から辞退したい旨の申し出があり、再整備事業の計画について変更を余儀なくされました。今後は、新たな優先交渉権者である株式会社イトーヨーカ堂と令和9年度中のリニューアルオープンに向けて、調整を進めてまいります。

その一方で、平成25年からアーティストと取り組んできたアートプロジェクト「SUPER OPEN STUDIO (以下S.O.S.)」は10周年を迎え、記念事業の実施や過去の出版物を総集した書籍の発行など、今までの活動がひとつの成果となって現れました。振り返ると大小いくつかの区切りが重なり、新たな可能性を探求する転換期でした。

活動方針

1 アートによるワークショップなどを通じて幅広い世代の市民が美術を体験する場を施設内にとどまらず市内の各地に展開します。

2 様々な主体との協働や異分野との連携を進め、アートを通じたコミュニティの形成やまちの賑わいづくりを推進します。

3 地域の若手アーティストを支援するとともに美大生に活動の場を提供し、アートに関わる人材を育成します。



再整備事業 について

アートを通じたコミュニティの形成やまちの賑わいづくりを推進するため、官民連携の相乗効果を期待して、民間事業者と連携し、再整備を進めています。

令和4年、相模原市は、後継施設を含む総合住宅展示場の整備を提案した株式会社ファジー・アド・オフィスと当事業に係る基本協定を締結し、再整備に向けた協議を進めてきましたが、同社から目標としていたハウスメーカーの賛同数を得られないため、優先交渉権を辞退したい旨の申出があり、これを受けて基本協定を解除しました。

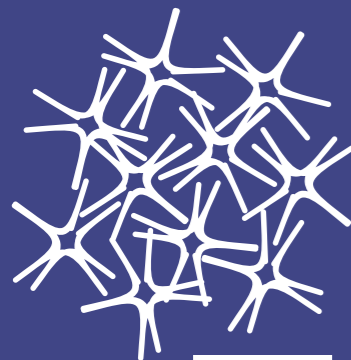
その後、次点事業者であった株式会社イトーヨーカ堂に本事業の参画に係る協議を申し入れたところ、受諾する回答があったことから、令和6年1月、新たに基本協定を締結しました。同社からの提案内容は、商業施設「アリオ橋本」内に後継施設を設置し、店内を活用したワークショップやアートプログラムなどにも取り組むものです。さらに、近隣の美術大学等と連携し様々な事業を展開する「Art District Consortium (アートディストリクトコンソーシアム)」を組成し、アートによる仕掛けやプロモーションが継続的に実施される新たな文化発信拠点を目指します。

現在は、再整備事業の内装設計プロポーザルの最優秀者として選定されたトミト・ANT・川見設計共同体が、建築上の課題抽出など専門的な見地から内装設計業務に調整を要する与件整理を行っています。



複合施設整備イメージ図 ※今後の詳細検討により変更の可能性有

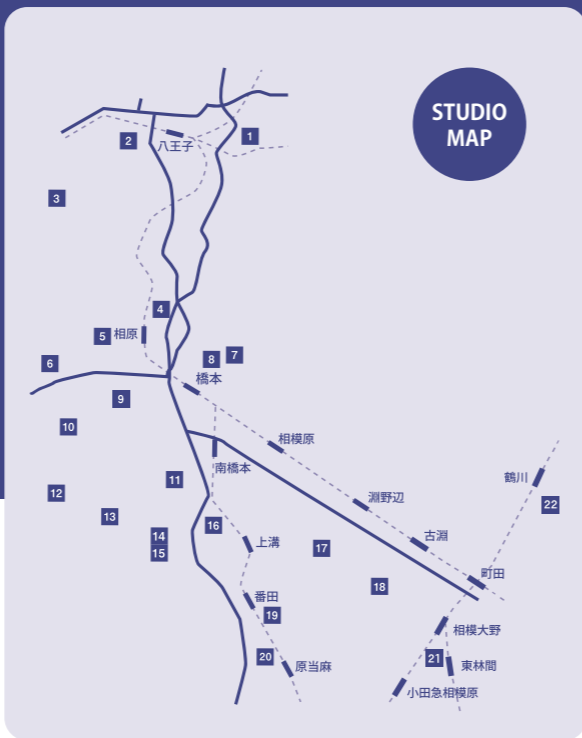
年 度	事業スケジュール(予定)
令和6年度	開発に伴う関係機関協議、後継施設整備に係る設計協議
令和7年度	基本契約締結、アートラボはしもと既存施設解体工事
令和8年度	後継施設内装設計及び工事、アリオ橋本増床棟工事及び大山町ゆうひ公園整備
令和9年度	後継施設及びアリオ橋本増床棟オープン



10th Anniv. SUPER OPEN STUDIO 2023

会期 | 令和5年11月11日(土)~11月19日(日)
主催 | SUPER OPEN STUDIO 2023 実行委員会 (Super Open Studio NETWORK・相模原市)
共催 | 相模原市(アートラボはしもと)
協賛 | 一般社団法人多摩美術大学校友会、東京造形大学校友会
協力 | 株式会社エフエムさがみ (FM HOT 839)

2013年から始まった「SUPER OPEN STUDIO」は、相模原市とその周辺地域のスタジオで活動するアーティストたち (Super Open Studio NETWORK (以下S.O.S. NET)) が協力して取り組んでいる事業です。毎年スタジオを一斉公開し、多彩な企画を展開する国内最大のオープンスタジオです。10周年を迎えた2023年は、22軒のスタジオに関わる118人のアーティストが参加し、新たにPARK8とスペースくらげ+DUST BUNNYが加わり、町田市鶴川にあるアトリエ・トリゴヤ+ナミイタ Nami Ita をゲストスタジオとして迎えました。会期中には、各スタジオで作品展示やパフォーマンス、トークイベント、物販などが行われました。10周年関連企画として、地域のラジオ局協力のもと「SUPER ART RADIO」の番組制作、そして複数のスタジオに足を運んでもらうことを目的とした「スタジオスタンプラリー」なども開催されたほか、これまでの活動を総集した書籍も発行されました。今後もアーティスト同士のネットワークを強化し、アートの在り方や地域との共生について考える場として、S.O.S.はさらなる発展が期待されます。



- 1 pimp studio 小黒アリサ、小田原のどか、川端薫、坂本左衛門、ニワタカユキ、牧野永美子、増井萌、山本麻璃絵、吉岡知秋
- 2 PARK8 ABEshuri、牛嶋みさを、田坂和実、丸林郁也、橋本太(ゲスト作家)
- 3 LUCKY HAPPY STUDIO 片山真妃、北村拓之、小林丈人、高山陽介、千葉正也、長谷川友香、堀ななみ、宮本穂穂、渡壁蓮
- 4 studio kelcova 石山未来、Kim Seonghee、久野真明、タツルハタヤマ、永山健吾
- 5 STACK ROOM 今井裕基、片桐旭日、佐藤イチダイ
- 6 アトリエボイス 内山聡、佐藤純也、中西晴世、ナカバヤシアリサ、橋本陽、洲田真里名、堀江和真、丸橋伴晃、丸山零、有美子、横手山慎二、渡利達彦
- 7 RED IRON STUDIO 池島晴子、鈴木飛馬、長尾郁明、島中瑠夏、松本藍子、水上愛美
- 8 モゲスタ Moge Studio 川島弘子、高嶋英男、高橋忠夫、西島蓮
- 9 Studio HAUSU (スタジオ ハースー) 井下紗希、太田龍之介、小川潤也、吉田裕亮
- 10 クンストハウス 荒井伸佳、内田望、内海仁、佐々木大、中畑良孝、中村萌、野津俊道、三木サチコ、吉雄介
- 11 ESA 尾山久之助
- 12 STUDIO 牛小屋 大槻英世、鈴木俊輔、光藤雄介、向井哲
- 13 REV 小山維子、佐々木耕太、佐藤修康、松本菜々、水口鉄人

- 14 TANA Studio 井出賢嗣、川名紀子、斎藤玲児、渡辺豊
- 15 Penguin's House Green 江口智之、遠藤裕太、橋本太、平田守、都路拓未、渡邊洵
- 16 アトリエ481 久保田恵美、清水優、本多給美子、吉原宏紀
- 17 STUDIO カタクリコ 泉啓司、翁素曼、加藤泉、坪倉信太郎、村元崇洋、森本一朗
- 18 Bartleby 長廻亮
- 19 studio ban 柴崎和也、田中太郎、久村卓、吉田朗、吉田拓也
- 20 SPECIAL FEELING STUDIO 石居真信、榎本耕一、大野晶、万代洋輔
- 21 スペースくらげ+DUST BUNNY 安藤翔夏、牛嶋みさを、田坂和実、塚原なる、高橋ヨシ(ゲスト作家)
- 22 アトリエ・トリゴヤ+ナミイタ Nami Ita 石黒和夫、金井みずほ、栗原勉、佐藤菜緒、東間謙、吉川陽一郎、WANI

スタジオビジット・バスツアー

参加者の声

ガイド役のアーティストとともに各スタジオを巡るバスツアーです。参加者は、アーティストの普段の生活や制作についての話を聞きながら和やかな雰囲気ツアーを楽しんでいました。

- 移動中のトークも楽しかったです。また来たいです。
- オープンスタジオは展示会ほどかきこまった場ではないのでフランクに作家さんと会って話せるのが楽しかったです。
- とても面白く、相模原の新たな面を知り愛着が湧いた。

日時 | 11月12日(日)・13日(月)・18日(土)・19日(日) / 1日2便 13:00~15:00、15:00~18:00



バスツアー

バスツアー

10周年記念イベント

SUPER ART RADIO

企画・パーソナリティー・映像制作 | 吉岡知秋 (S.O.S. NET代表)

S.O.S.企画による特別ラジオ番組、「SUPER ART RADIO」をFM HOT 839 (エフエムさがみ)で全8回にわたり放送しました。パーソナリティーの吉岡知秋がスタジオを訪れ、アーティストの制作にまつわるエピソードから、普段は聞けないプライベートな話題までたくさんお話ししました。



<https://www.youtube.com/@superopenstudio8629>

アーカイブ動画をYouTubeでも配信しています。ラジオ放送では惜しくもカットされたシーンや、収録後のアフタートークも追加されていますので、ぜひご覧ください。



第1回 | 9月30日(土) 放送

「突撃!隣のスタジオさん」

ゲスト:井出賢嗣 (TANA Studio)
ENDOIE (Penguin's House Green)

同じ敷地内にあるスタジオに所属しながら、今まであまり話したことのない井出氏とENDOIE氏。作風やジャンルなど異なる点の多い2人ですが、共通する部分はあるのでしょうか?

第2回 | 10月7日(土) 放送

「盟友の2人に会ってきた」

ゲスト:榎本耕一 (SPECIAL FEELING STUDIO)
千葉正也 (LUCKY HAPPY STUDIO)

長く親交のある2人が、改めて互いの制作や生活、普段のインプットについて話し合われました。収録場所のSPECIAL FEELING STUDIOからは、アーティストの制作風景や普段の生活を垣間見ることができます。

第3回 | 10月14日(土) 放送

「10年を潜る! ブクブク、ブック!」

ゲスト:中尾拓哉、高橋ひかり (S.O.S. BOOK企画・編集)

S.O.S.の開催10周年を記念して出版される書籍「SUPER OPEN STUDIO——制作と生活の集合体」。その制作に携わる中尾氏と高橋氏が出演されました。アーティストとは異なる視点から、S.O.S.について語っています。

第4回 | 10月21日(土) 放送

「新たな風が舞う!食後にプレゼンはいかがですか?」

ゲスト:吉田裕亮 (Studio HAUSU)
田坂和実 (PARK8)

アーティストとアーティストマネージャーという違いがありながらも、同年代でどこか似ている2人。自己紹介はスライドをもとに、プレゼンのような形式で行われました。

第5回 | 10月28日(土) 放送

「誰ぞ彼、絵を描く者たちか。」

ゲスト:大槻英世 (STUDIO 牛小屋)
タツルハタヤマ (studio kelcova)

同じく絵画作品を制作するアーティストですが、表現が大きく異なる大槻氏とハタヤマ氏。そんな2人に、制作の方法や作品と場所の関係性、「描く」ということに対する特別な思いを伺いました。

第6回 | 11月4日(土) 放送

彫刻SP前半「待たなし!素材と真剣勝負」

ゲスト:三木サチコ・吉雄介 (クストハウス)
泉啓司・坪倉信太郎 (STUDIO カタクリコ)

スペシャル回として、第6回放送、第7回放送はクストハウスとSTUDIOカタクリコに所属する、彫刻家の4人が出演しています。制作に使用する素材の違いや、彫刻作家あるあるのお話を伺いました。

第7回 | 11月4日(土) 放送

彫刻SP後半「イチオン!とっておきの制作道具」

ゲスト:三木サチコ・吉雄介 (クストハウス)
泉啓司・坪倉信太郎 (STUDIO カタクリコ)

第6回放送に続き、彫刻作家の4人が出演しています。制作の相棒とも言えるお気に入りの道具について、こだわりポイントのプレゼンバトルを行いました。

第8回 | 11月18日(土) 放送

公開収録「Thanks SUPER ART RADIO」

ゲスト:水上愛美 (RED IRON STUDIO)

最終回はS.O.S.期間中に、RED IRON STUDIOで公開収録を行いました。絵画を制作する水上氏とパーソナリティーが、なぜ芸術に興味を持ったのか、またともに実行委員として中心的に携わっているS.O.S.についてお話を伺いました。

スタジオスタンプラリー

S.O.S.10周年記念企画のひとつとして、スタジオを巡るスタンプラリーを実施しました。参加する22軒のスタジオ全てにスタンプを設置し、全軒集めると、これまでに発行された『S.O.S. BOOK』を全てセットにした記念品が贈呈されます。

スタジオ巡りに新しい楽しみが加わり、子ども連れの家族にも好評でした。スタンプのデザインは10周年の「10」をテーマに、各スタジオのメンバーがオリジナルで作成したものです。



書籍化プロジェクト

S.O.S.BOOK 2013-2023

S.O.S.BOOKとは、事業で発行してきたS.O.S.に関する記録冊子です。今回10周年を記念して、これまでの刊行物を再構成し、新たな1冊の書籍として出版するプロジェクトを実施しました。

有識者による論集や参加アーティストによる対談、2023年の参加スタジオに対して行った「共同スタジオとは何か」という問いに対する回答も収録し、『SUPER OPEN STUDIO——制作と生活の集合体』として出版しました。10年の活動を振り返るアーカイブ資料となっています。

『SUPER OPEN STUDIO——制作と生活の集合体』
編者 | 中尾拓哉
発行者 | SUPER OPEN STUDIO 2023 実行委員会
デザイン | 松田洋和
発行年 | 令和6年



書籍お申込みフォーム



会って話す

Super Open Studio
NETWORK 代表
吉岡 知秋

1990年神奈川県生まれ。2016年に多摩美術大学美術学部絵画学科油画専攻を卒業後、東京都八王子市にあるpimp studioを制作拠点とし活動を開始。絵画を中心に制作をしている。「SUPER OPEN STUDIO」には2016年から参加し、運営メンバーへの参加をへて、2021年からはS.O.S.NETの代表を務めている。

2023年はコロナ禍を乗り越え「スタジオを一斉にオープンして多くの人に来てもらうこと」という原点により注力できた年だった。シンプルであるが一番大切に貴重なことであった。周年イベントらしく目玉企画を打つ案もあったのだが、アーティストたちから、それよりも22軒のスタジオが各々で企画を考え実行し、来場者により多くのスタジオへ足を運んでもらう形を目指さないかという意見が出て、そちらを採用した。結果的に、来場者は制作現場を見るだけでなく、それぞれの企画(例えばゲスト作家の展示やパフォーマンス、物販など)を通してアーティストと会話をしやすく、充実した時間を過ごせているように思う。

私はといえば、今年はとにかく喋りまくった。それはS.O.S.として初の試みであるラジオ番組「SUPER ART RADIO」のパーソナリティーを務めていたからだ。全8回放送、総勢15名のアーティスト及びS.O.S.の関係者と作品や制作の話をした。番組自体は30分放送なのだが、その収録は毎回1~2時間ほどかかり、私はおそらく合計で12時間以上喋っていた。

この番組を通して、アーティストのぐずぐずしてまよってない未消化の言葉を伝えたかった。展覧会など表舞台での発言やステートメントは、整理整頓されていて作品の導入には役立つが、もっと理解を深めたい時には、前述したようなぐずぐずした話が役に立つ。実際、15名のゲストは私との関係性や性格によってスピードが異なったものの、各々が抱え持つ思考と感情をポツポツと少しずつこぼしてくれた。いろんな形の人生と芸術の交差があり、どの回もとても興味深いものとなった。

会話というのは、その人の発言力の大きさは関係なく、お互いの言葉を交換することで新たに価値を見出したり創造することが出来る。そしてS.O.S.での会話は、普段の制作では孤独な作業が多くなりがちなアーティスト達にとって、些細なことや自分の中で解消できていない考えを言い易い場として非常に有難く、その経験は再び日々の制作に還元されていく。「会話」を通して芸術を考えたり醸造していく場というのは、実は社会に多く在るものではない。これまで10年間にも渡ってこのイベントが続いてきたのは、そういった場として機能してきたからなんだろうと改めて思った。

地域連携

令和4年度に引き続き、アウトリーチに重点を置いた活動を行いました。地域資源の活用という観点から、市内にあるダム湖で採取した流木を用いた工作プログラムを考案し、児童クラブで実施しました。また、小学校からの依頼を受け、SDGsに関する取組として、小学校の近くに生育する植物を用いた工作の提案を行いました。加えて、市内の法人から提

供いただいた廃材を用いたプログラムを考案し、小学校の先生方とともに授業を行いました。当館では、連携先の団体・施設の方々とともに考えることを基本とし、SDGsなど新たな視点を取り入れた活動を今後も続けていきます。事例のひとつとして、令和5年度実施した小学校との連携企画を取り上げ、どのような流れで連携をしたのかをご紹介します。



アートラボみやかみ ～しぜんのおくりもの～

宮上小学校の先生から「SDGsとアート活動を絡めた授業をしたい」と相談を受け、「ものをつくること」とSDGsがどのように共存できるか考えました。SDGsの学習として市内を巡るツアーを実施するという話から、「自分の住んでいる地域・場所に目を向けること」に軸を置いた提案を行い、小学校のすぐそばにある境川に生育する植物と、津久井産の木材で学習机天板を製作している一般社団法人 さがみ湖 森・モノづくり研究所 / MORIMOより提供いただいた木端を使った工作を行うことになりました。

2回目の打ち合わせでは、当館職員が考案した工作を先生方に体験してもらい、工作の内容を植物版画と木端を使ったフレームづくりに決定しました。先生方からの感想や意見をもとにその後も試作を重ね、3回目の打ち合わせでは改良した作業工程と授業スケジュールの共有を行いました。

授業はフレームづくり・植物版画・仕上げの3工程に分けて実施し、当日は当館職員とボランティアの方々が技術的なサポートに入る形で授業に参加。完成した作品には当館がデザインしたタグを付けて10月の「さがみ風っ子展」で展示しました。展示方法についても意見を出し合い、野外での展示に耐えられるよう工夫しました。

子どもたちは授業を通して、身近にあるものに目を向け、それらがものづくりの素材になると気付くきっかけとなったのではないのでしょうか。その経験をもとに、子どもたちが自身が環境やものづくりについて、より深く考えていくことにつながることを期待します。

日時 | [制作] 令和5年8月30日(水) 8:35～11:50・9月6日(水) 10:40～12:15・13日(水) 10:40～12:15

[展示] 10月20日(金)～22日(日) 10:00～16:00

会場 | [制作] 相模原市立宮上小学校 [展示] 造形「さがみ風っ子展」会場 (GLP ALFALINK相模原)

主催 | 相模原市立宮上小学校 協力 | 一般社団法人 さがみ湖 森・モノづくり研究所 / MORIMO、アートラボはしもと

工作の流れ



MORIMOから木材の提供を受ける 当館職員による授業内容の説明 提供を受けた木材をカット、研磨したもの 端材を組み合わせてフレームをつくっていく 境川で採取してきた植物で版画をする 制作したフレームに合わせて版画を切り取る フレームと版画を接着して、完成! 「さがみ風っ子展」での展示風景

役割分担

宮上小学校 | 材料調達(版画用植物の採取、法人への木端の依頼)、用具調達、ボランティア依頼、当日の授業、展示
アートラボはしもと | コンセプトおよび工作考案、授業補助、展示用タグデザイン考案

実施スケジュール

- 5月 宮上小学校より相談
- 6月12日 第1回打合せ
ヒアリング、素材検討
(宮上小学校・みんなのSDGs推進課・アートラボはしもと)
- 7月10日 第2回打合せ
試作、実施内容決定
(宮上小学校・アートラボはしもと)
- 8月14日 第3回打合せ
工程決定、スケジュール確認
(宮上小学校・アートラボはしもと)
- 8月30日 授業への参加
木端を利用したフレームづくり
- 9月 6日 授業への参加
植物を使った版画づくり(葉拓)
- 9月13日 授業への参加
仕上げ作業(トリミング)
- 10月20日～22日 展示
令和5年度 第43回造形
「さがみ風っ子展」にて展示

宮上小学校3年生担任 渡邊美穂先生

本校の3年生は総合的な学習の時間にSDGsについて学習しました。「SDGsって何だろう」から始まった4月。校外学習や調べ学習を経て少しずつ身近なSDGsについて興味をもちました。図工の学習でもSDGsの観点で作品づくりができないか考え、アートラボはしもとの皆様にご相談しました。何度か打ち合わせをするなかで、子ども視点に立った題材、たくさんアイデアをいただき、プロに学ぶ大切さを実感しました。最終的に「子どもたちが教室で使用している机の廃材を使用したフレームづくり」に決定。子どもたちは作品づくりを通して、ものづくりの楽しさを感じるだけでなく、様々な人と関わる楽しさや材の大切さにも気づくことができました。今後の学習につながる素晴らしい経験をする事ができました。

湖からやってきた!? 流木でおさかなをつくろう!

旧アートラボ周辺にある児童クラブから依頼を受け、市内の湖に溜まった流木を使って、オリジナルの魚をつくる工作プログラムを実施しました。まず当館職員が津久井湖で流木を採取、洗浄とカット作業を行いました。また、児童クラブの予算で画材購入や、魚を貼りつける台紙を作成しました。当日は、導入のために相模川の環境や魚のクイズを行い理解を深めた後、工作で使う流木を自分で釣り上げる魚釣りゲームをして盛り上がりました。日常生活で使用している水がどこから来たのか、また湖の環境や生態系、廃材の問題を子どもたちが知るきっかけとなるよう心がけました。

日時 | [旭児童クラブ] 令和5年7月24日(月) 10:00～15:00
[小山児童クラブ] 令和5年7月25日(火) 10:00～14:00
会場 | 旭児童クラブ、小山児童クラブ
協力 | アートラボはしもと

工作の流れ



津久井湖の流木置き場 相模川の環境や生態系についてのクイズ 工作に使う流木を釣り上げる クレヨンで流木に色をつける 流木を台紙に固定し、ビーズや目玉を貼る 完成! 旭児童クラブでの展示 小山児童クラブでの展示

けやき体育館フェスタ in けやきウィーク アートでニュースポーツ コネクトミノッシュ ver.1.0

「こねくとミノッシュ」はミノムシをモチーフにした的、毛糸やビーズで装飾したパドミントンのシャトルや卓球のボールなどを投げてくっつけるオリジナルのゲームです。スコアを競う個人戦の「こつこつミノッシュ」と、テーマに沿った飾りつけをする対戦型のゲーム「わいわいミノッシュ」を実施し、多くの方に楽しんでいただきました。シャトルなどは、けやき体育館で使用し廃棄処分をする予定だったものを譲り受け、けやき体育館の工作プログラム「ふらっとアート」の参加者に装飾してもらいました。今後も誰でも楽しめるスポーツとなることを目指して話し合いと試作を重ね、体験会でのアンケートをもとに内容をアップデートしていきます。

日時 | 令和5年12月9日(土) 10:00～15:00
会場 | 相模原市立けやき体育館
主催 | 相模原市立けやき体育館
協力 | アートラボはしもと



ふらっとアートで、古いシャトルに装飾 的に投げる球を選ぶ 的に球を投げてくっつける テーマに沿った装飾になったかな?

大学連携

当館は、相模原市近隣にある美術大学などと連携した事業を行っています。令和5年は多摩美術大学のPBL (Project Based Learning) 科目を履修した学生や、大学院生のプロジェクトのサポートを行いました。



セイトンプロジェクト@相模原市

多摩美術大学の大学院生、菅澤ゆづきさんによる環境問題をテーマとしたプロジェクトです。ポイ捨て行為を可視化するため、地元の自治会の人たちの協力を得ながら回収した6000本ものペットボトルを高田橋河川敷の石段に並べました。また、この作品を多くの人に知ってもらうため、作品の写真を大きくプリントし、ユニコムプラザのロビーに展示しました。

日時 | [制作] 令和5年7月30日(日) 9:00~21:00
[展示] 令和5年11月26日(日)~令和6年3月31日(日) 9:00~22:00
会場 | [制作] 高田橋河川敷 [展示] ユニコムプラザさがみはら
主催 | 多摩美術大学
協力 | アートラボはしもと



回収したペットボトルの洗浄と整列作業



整然と並ぶ6000本のペットボトル



完成した作品

多摩美術大学大学院生 菅澤ゆづきさん

「セイトンプロジェクト@相模原市」は、廃棄物となるペットボトルを大量に並べて可視化することにより、環境問題への意識を高めることを目的とした作品です。この作品を制作するにあたり、展開する場所の検討ならびに参加していただける方を募るため、アートラボはしもとに協力を依頼しました。まずポイ捨てが行われている相模川の河川敷を展開場所として想定し、川沿いのポイントを10箇所ほど案内していただき、田名の高田橋のたもとにある石段で行うことに決めました。次に、本プロジェクトに興味がありそうな方を集める為に地域のイベント「相模川クリーン作戦」と「さがみはら環境ま

つり」に参加しました。そこで四ツ谷自治会や水郷田名自治会、地元企業の方が興味を持ってくださったので、後日アートラボはしもとの職員同席のもと作品の詳細な説明を行い、ペットボトルの回収や当日の作業の参加を呼びかけていただけることになりました。さらに上溝夏祭りの実行委員会を通してボランティア活動にも参加し、大量のペットボトルを回収することができました。その後も実施前日の石段の草むしりから夜遅くの撤収作業、完成した作品の写真をユニコムプラザさがみはらのロビーに展示する企画や、ラジオ番組の出演に至るまで幅広く協力していただきました。

あるいて!みつけて!街がいさがし —まいごのガミーズを救え!—

多摩美術大学の実践型体験授業・PBL科目の受講生たちが企画した、さがみ夢大通り商店街と相模原東商店街を会場とした探索ゲームです。「何者かによって街の地図が間違えただけになり、双子の妖精ガミーズが迷子になってしまった。その間違いを正してガミーズを救おう!」という設定のもと、いろいろとおかしな箇所がある街の写真を手に、参加者は商店街を探索しました。間違いを見つけると、お礼に各店主を描いたカードがもらえます。愛嬌たっぷりの着ぐるみのガミーズも子どもたちに大人気でした。

日時 | 令和6年1月14日(日) 11:00~17:00
会場 | 相模原駅前商店街周辺
主催 | さがみ夢大通り商店会・相模原東商店会
共催 | 多摩美術大学
後援 | 相模原市中央区役所
協力 | アートラボはしもと



ゲームの説明をする多摩美術大学の学生



オリジナルキャラクター「ガミーズ」の手づくり着ぐるみ



学生が作成した各店主の紹介カード

相談・マッチング事業

市民(小学校・中学校・高校含む)や企業からは、授業の相談や講師派遣の依頼、アーティストからは制作場所や活動場所探しなどの相談を受け、実現に向けた調整を行いました。内容によっては、当館との連携事業に至るケースもあります。



刺繍BAR@kichika

紙刺繍ワークショップ(以下WS)の実施を希望するアーティスト、久村卓氏からの依頼を受け、コミュニティスペースを運営する会社mifumiを紹介しました。マッチングの結果、相模大野にある「kichika」で開催し、多くの参加者が紙刺繍を体験することができました。長時間のWSにも関わらず、子どもから大人まで楽しみながら作品を完成させることができました。

日時 | 令和6年1月8日(月) 12:00~18:00
会場 | kichika
主催 | 久村卓
協賛 | ティー・エム・シー株式会社
協力 | アートラボはしもと



studio ban (S.O.S. NET参加スタジオ) 所属 久村卓氏

「刺繍BAR」はバーで好きなお酒を注文して楽しむように、好きな刺繍糸を注文して刺繍を楽しむことができる自由参加型のWSです。美術館だと入りにくくても、バー(お店)だと入りやすいことから、より多くの方々にアートを体験してもらえるため、美術館が無い場所での開催こそが向いているWSでもあります。しかし、刺繍という誰もが出来る技法と、バーという交流を生む空間の掛け合わせで気軽にアートを触れられる仕組みは出来ていたものの、1日限りの単体イベントを場所決めから集客まで含め成立させるのは困難と感じ、アートラボはしもとへ相談しました。紹介され会場となった相模大野のkichikaは駅から近く、50人は収容できる広く綺麗な空間を有するだけでなく、これまでも様々な文化的イベントを開催するなかで着実に地域コミュニティを形成していて、当日も「kichikaのイベント」というお墨付きを得る形で参加者が集い、常時満席での開催となりました。アートラボはしもとは、私のアートに対する教育普及的観点を理解しているだけでなく、文化を介した地域コミュニティの動きを把握しているため、今回のマッチングは非常に有意義なものとなりました。

2023年度事業一覧

事業名	分類	プログラム名	実施日	参加数	地域連携事業		SOS	大学連携事業
					会場	講師など		
市立図書館・アートラボはしもと連携事業「図書館は宝島!〜キッズ★フェスタ2023〜」	工作	ぐるぐるキラキラビーズ玉万華鏡をつくらう	2023/4/22	46	相模原市立図書館	当館美術専門員、市立図書館職員		
市立図書館・アートラボはしもと連携事業「つくっちゃおうかみしばい!第8巻」	実演	紙芝居実演	2023/4/22	39	相模原市立図書館	当館美術専門員、市立図書館職員		
アートラボはしもとオープンデー「せつせつとジュンビチュウ!」	その他	ぐるぐるキラキラビーズ玉万華鏡をつくらう 紙しばい動画上映/工作レシピ公開/事業相談	2023/5/20	17	アートラボはしもと作業室	当館学芸員、当館美術専門員		
児童クラブ定期WS	WS	湖からやってきた!?流水でお魚をつくらう!	2023/7/24・25	172	旭児童クラブ、小山児童クラブ	当館学芸員、当館美術専門員		
老人福祉センター・浜松園まちかど講座	その他	相模原の美術史〜相模原画壇の夜明け	2023/8/29	5	老人福祉センター・浜松園	当館美術専門員		
アートラボみやま〜しぜんのおくりもの〜	工作	木端を利用したフレームづくり 植物を使った版画づくり(葉拓)	2023/8/30 2023/9/6	100	宮上小学校 宮上小学校	当館学芸員、当館美術専門員、宮上小学校職員		
	WS	毛糸でまきまきカラフルのむし	2023/9/14	11	けやき体育館	けやき体育館職員、当館学芸員、当館美術専門員		
ふらっとアート(特別編)	WS	アートでニューススポーツこねくドミノッッシュ ver.1.5 ミノッッシュのおしゃれアイテムづくり!	2023/10/14	6	けやき体育館	けやき体育館職員、当館学芸員、当館美術専門員		
けやき体育館フェスタiniけやきウィーク	その他	アートでニューススポーツこねくドミノッッシュ ver.1.0	2023/12/9	34	けやき体育館	けやき体育館職員、当館学芸員、当館美術専門員		
大野北小学校出張授業	その他	北小創造計画	2023/12/18	137	大野北小学校	当館学芸員、東京造形大学学生		
さがみはらSAKURA路上アート	WS	創造団子らぼや	2024/03/30	51	相模原市役所本庁舎前広場	当館美術専門員		
SUPER OPEN STUDIO 2023-10th Anniv.	その他	スタジオ公開	2023/11/11~11/19	1928	-	-		
	ツアー	スタジオ・ビジットバスツアー(1)	2023/11/12	(20)	-	小山維子、下山健太郎		
	ツアー	スタジオ・ビジットバスツアー(2)	2023/11/12	(14)	-	今井しほか、入江彩美		
	ツアー	スタジオ・ビジットバスツアー(3)	2023/11/13	(19)	-	ナカバヤシアリサ、水上愛美		
	ツアー	スタジオ・ビジットバスツアー(4)	2023/11/13	(19)	-	堀江和真、吉岡知秋		
	ツアー	スタジオ・ビジットバスツアー(5)	2023/11/18	(22)	-	青木彬、久村卓		
	ツアー	スタジオ・ビジットバスツアー(6)	2023/11/18	(19)	-	大槻英世、TODO		
	ツアー	スタジオ・ビジットバスツアー(7)	2023/11/19	(20)	-	高橋ひかり、中尾拓哉		
	ツアー	スタジオ・ビジットバスツアー(8)	2023/11/19	(18)	-	鈴木飛馬、水上愛美		
	その他	SUPER ART RADIO (1)	2023/9/30	639	-	井出賢嗣、ENDO、吉岡知秋		
	その他	SUPER ART RADIO (2)	2023/10/7	798	-	櫻本耕一、千葉正也、吉岡知秋、		
	その他	SUPER ART RADIO (3)	2023/10/14	257	-	高橋ひかり、中尾拓哉、吉岡知秋		
	その他	SUPER ART RADIO (4)	2023/10/21	242	-	田坂和実、吉田裕亮、吉岡知秋		
その他	SUPER ART RADIO (5)	2023/10/28	423	-	大槻英世、タツルハタヤマ、吉岡知秋			
その他	SUPER ART RADIO (6)	2023/11/4	324	-	泉啓司、坪倉信太郎、三木サチコ、吉岡知秋、吉雄介			
その他	SUPER ART RADIO (7)	2023/11/11	141	-	泉啓司、坪倉信太郎、三木サチコ、吉岡知秋、吉雄介			
その他	SUPER ART RADIO (8)	2023/11/18	365	-	水上愛美、吉岡知秋			
多摩美術大学セイトンプロジェクト@相模原市	その他	セイトンプロジェクト@相模原市	2023/7/30	28	高田橋河川敷	菅澤ゆづき、田名四ツ谷自治会ほか、		
東京造形大学出張講座	その他	セイトンプロジェクト@相模原市写真作品展示	2023/11/26~2024/3/31	-	ユニコムプラザさがみはら	多摩美術大学学生、当館美術専門員		
女子美術大学出張授業	その他	造形教育研究II	2023/10/19	20	東京造形大学	当館学芸員、当館美術専門員		
多摩美術大学PBL科目との連携事業	その他	公共学習セミナー	2023/10/27	111	女子美術大学	当館学芸員		
	その他	あるいて!みつけて!街がいさがし—まいごのガミーズを救え!—	2024/1/14	80	相模原駅前商店街周辺	相模原東商店会、さがみ夢大通り商店街、多摩美術大学学生		
		プログラム参加者数計		5974				

SUPER ART RADIOの参加者数は、YouTube版の視聴者数を記載しています(3/31時点)

相談受付件数:計14件
うちマッチング成立件数:モノの成立(物件、場所などの紹介)2件/ヒトの成立(アーティスト、講師などの紹介)4件